種子交換で導入し、開花した植物
ケシ科の一年草（２種）

永木利夫

Eschscholzia lobbii Greene.

エッショルチア・ロビイ（写真１）

原産は北アメリカのカリフォルニア。ストックホルム大学のベルギウス植物園（スウェーデン）より種子を導入した。2000年10月27日、ピートモスに播種、育苗温室で育苗し、12月上旬、露地に定植した。３月下旬より開花を始め、４月中旬に最盛期となり、５月上旬に終了した。花は昼に開き、夕方には閉じた。葉および花は株元から叢生し、開花時の草丈、株張はともに15～20㎝。葉は細裂し長さ約10㎝、花茎長約15～20㎝。一株に多数の花を咲かせ、花径は２～３㎝、花色は黄で単生する。さく果は長さ５～10㎝、幅３～４㎜で細長く、中に数十個の種子を有した。

栽培はハナビシソウと同じで容易。春花壇の縁取りやロックガーデンの植栽に適している。

Roemeria refracta DC.

ロエメリア・レフラクタ（写真２）

原産は地中海沿岸からアフガニスタンにかけて。導入先は前種と同じ。2000年12月７日、ピートモスに播種。育苗温室（最低温度7℃）で育苗。２月上旬、無加温ハウスに移動。３月上旬、露地に定植。３月下旬より開花を始め、４月中旬から５月上旬まで開花を休止し、５月中旬より再び開花を始め、６月上旬に終了した。開花時の草丈は約20㎝、株張は約15㎝。茎は直立し、上部で花茎を分枝し、一株で十数個開花した。葉は細裂し長さ約10㎝、花は径約６㎝で赤色、基部に黒のブロッチがある。

栽培はヒナゲシに準ずる。春花壇に利用が考えられる。

写真１　*Eschscholzia lobbii* Greene.

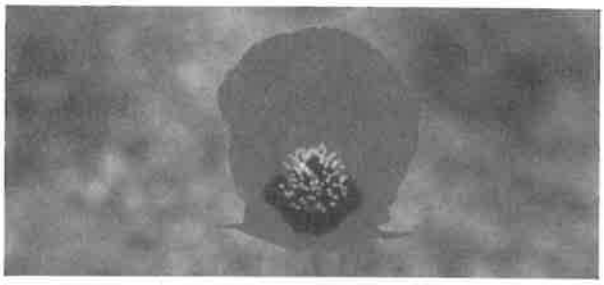

写真２　*Roemeria refracta* DC.

ΨΨΨ